

◆全国青年・女性漁業者交流大会

第30回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会等概要

水産海洋技術センター 石川貴宣

1 目的

令和6年11月8日に沖縄県水産会館5階大ホールにおいて、第30回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会が開催された。この大会は、本県における漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより漁村社会の発展に寄与することを目的として毎年開催されている。

2 内容

今年度は、伊良部漁業協同組合小型船主会久高一哲氏が「カツオの島の現在地～伊良部島のこれまでとこれから～」、糸満漁業協同組合女性部比嘉美鈴氏が「女性部活動で見えてきた地域活動と後継者」と題しこれまでの活動状況と成果、波及効果と課題、今後の計画について発表した。審査の結果、伊良部漁協の久高氏が最優秀賞（県知事賞）、糸満漁協の比嘉氏が優秀賞（県漁連会長賞）に選出され、最優秀賞を受賞した久高氏が全国大会へ派遣された（図1）。

また、沖縄県水産高等学校海洋サイエンス科3生6名により「海洋サイエンス科海洋生物類型の様々な取り組み」、宮古総合実業高等学校食と環境科3年生5名により「おいしいご飯のお供、血合いを使った新製品「もったいないみそ」の開発」と題した体験発表が行われた。その他、沖縄県水産海洋技術センタ

ー海洋資源・養殖班、一般社団法人海洋水産システム協会からそれぞれ話題提供が行われた。

令和7年3月4日、5日に日本橋フロント6階A P日本橋（東京都）において、第30回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、県大会で最優秀賞を受賞した伊良部漁協久高氏が多面的機能・環境保全部門で「カツオの島の現在地～伊良部島のこれまでとこれから～」を発表した。審査の結果、漁村地域の多面的機能の維持・増進への取組みが評価され「全国共済水産業協同組合連合会会長賞」を受賞した。



図1 発表者の久高一哲氏（左から2人目）と比嘉美鈴氏（左から3人目）